

中小企業タイムズ

6月号

2012年
第667/242号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

- 1面 中央会通常総会を開催
2面 被表彰者一覧
4・5面 組合活動紹介
- 6面 新設組合紹介
8面 6次産業化チャレンジ事業紹介

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

5月の出来事

●時事

- 5日 国内の全原発、42年ぶり停止
6日 茨城・栃木で大型の竜巻

●山梨県中央会ニュース

- 11日 第2回正副会長会議、第1回理事会
31日 第3回正副会長会議、平成24年度通常総会

6月の予定

- 7日 青年中央会平成24年度通常総会
13日 全国中央会平成24年度通常総会
23日 中小企業の森整備事業(金川の森)



本年度の中央会基本方針について述べる内藤会長

三山梨県議会議長、宮島雅展甲府市長、松本順丈日本銀行甲府支店長から祝辞が述べられ、山口晃山梨労働局長が乾杯を行い懇談に入った。懇談では、出席者相互の積極的な交流と懇親がされ、最後に、阿部学商工組合中央金庫甲府支店長から締めめのあいさつを頂き閉会した。

式典終了後の交流会では、浅川力三山梨県議会議長、宮島雅展甲府市長、松本順丈日本銀行甲府支店長から祝辞が述べられ、山口晃山梨労働局長が乾杯を行い懇談に入った。懇談では、出席者相互の積極的な交流と懇親がされ、最後に、阿部学商工組合中央金庫甲府支店長から締めめのあいさつを頂き閉会した。

山梨県中小企業団体中央会は、5月31日(木)午後2時から昭和町「アピオ」で、第57回通常総会を開催した。

会員組合等の代表者、来賓並びに受賞者など約200名の参加を得るなかで、通常総会・表彰式典・交流会を実施した。

通常総会で、内藤会長はあいさつの中で、「昨年は、東日本大震災の影響で、日本経済は大きな打撃を受け、また、空前の円高やデフレが進行する中で、今年に入り電力料金の値上げや社会保険料の負担増に加えて消費税の増税が検討されるなど、中小企業は厳しい経営環境を余儀なくされている。そこで、中央会は今年の活動テーマを、平時にあっても危難に備えるという意味の「居安思危」とした。また、過去の57回の通常総会を通じて、初のスローガンを掲げた。これは、20年に及ぶ長期の不況の中で、中小企業の疲弊は限界に達

しており、この状況の打破のため、連携組織によるデフレ不況対策等の必要と、中小企業に不利な消費税増税に反対することを表明するもの。今後も中央会は、中小企業の連携組織の専門支援機関として、中小企業の振興に努める。会員には、環境の変化への柔軟な適応力や機動性など、中小企業の特徴を活かして生き残り、景気回復の先頭に立ち、地域経済の核となるよう期待している。」と述べた。

通常総会では、平成23年度事業報告及び決算関係書類と、平成24年度事業計画及び収支予算など、提出された全ての議案が原案通り決定された。また、スローガンは、総会宣言として採択された。

続いて表彰式典に移り、始めに、組合退任理事長への中央会会長感謝状が贈られ、優良組合、組合功労者、女性部功労者、青年部功労者並びに優良専従職員に対して中央会会長表彰状が贈呈された後、受賞者を代表して渡辺信晴氏から謝辞が述べられた。また、来賓として出席をいただいた平井亘山梨県副知事、今井進甲府商工会議所副会頭から祝辞が述べられた。

平成24年度 通常総会開催

57回の通常総会で初の総会宣言を採択

総会宣言

デフレ不況を克服し、早期景気対策を立ち上げるよう中小企業！ 組合・絆ルネサンス

無条件での消費税増税絶対反対

リニア中央新幹線・中部横断自動車道で地域活性化を



大会宣言を読み上げる山梨県青年中央会会長

平成24年度

山梨県中小企業団体中央会表彰

山梨県中小企業団体中央会感謝状

感謝状（退任理事長）

17名

青沼 久（甲州市管工事協同組合）
雨宮 将臣（山梨衣料チェーン協同組合プロス）
伊藤いつ子（企業組合ふるさと薬膳森樹）
笠井 一洋（西嶋和紙工業協同組合）
神山 利秋（山梨県スポーツ専門店協同組合）
五味 政治（山梨・甲州環境協同組合）
佐藤 奨（山梨県石材加工業協同組合）
清水 昭博（高根クラインガルテン企業組合）
清水 武司（峡北自動車整備協業組合）
花輪 幹夫（山梨県理容生活衛生同業組合）
樋口 幹男（朝日通り商店街協同組合）
伏見 直樹（甲府市管工事協同組合）
松本 孝（甲府菓子工業協同組合）
三澤 茂計（山梨県ワイン酒造協同組合）
宮川 長光（山梨県板金工業組合）
渡邊 隆（山梨県室内装飾事業協同組合）
渡辺 信晴（山梨県燃糸工業組合）

山梨県中小企業団体中央会会長表彰

優良組合

3組合

峡南生コンクリート協同組合
企業組合温泉市場・しんせんやまなし
企業組合かすがい農産物直売所

組合功労者

31名

芦澤 一男（山梨物流事業協同組合）
雨宮 和仁（山梨県電気工事工業組合）
雨宮 靖雄（朝日通り商店街協同組合）
冲山 猛（山梨県トラックターミナル協同組合）
小田切壽次（山梨県不動産業協同組合）
梶原 守夫（河口湖商業協同組合）
勝俣 博州（山梨県クリーニング生活衛生同業組合）
小池 洋一（石和地区ハイヤー事業協同組合）
菊島 輝雄（協同組合山梨県ジュエリー協会）
後藤 直人（山梨療術業協同組合）

五味 公博（山梨県自動車整備商工組合）
斉藤 親（山梨県石油協同組合）

佐藤 勝行（山梨県環境計量事業協同組合）
清水 文一（山梨県造園建設業協同組合）

清水 幸雄（山梨県宝石研磨工業協同組合）
滝田 慎司（山梨県電気工事工業組合）

出羽 英俊（山梨県電気工事工業組合）
内藤 勲（山梨県青果商業協同組合）

中村 邦弘（山梨県・重機解体建設業協同組合）
野田 文久（山梨県自動車整備商工組合）

早川 猛英（山梨県菓子工業組合）
半田 幸久（岳麓自動車検査事業協同組合）

深澤 勝彦（山梨県自動車整備商工組合）
深澤 哲（山梨県板金工業組合）

藤木 道仁（山梨県クリーニング生活衛生同業組合）
細田 幸次（都留信用組合）

堀口 悟（山梨県菓子工業組合）
矢崎 博（山梨県わた寝具商工組合）

矢崎 六彦（南アルプス市管工事協同組合）
八代 善雄（山梨県製麺協同組合）

米山 秋子（山梨療術業協同組合）

青年部功労者

4名

赤石 明雄（山梨県事務機文具商協同組合一步会）
河野 嘉孝（山梨県造園建設業協同組合青年部）
齊藤 良太（山梨県菓子工業組合青年部）
中込 祐治（山梨県板金工業組合青年部）

女性部功労者

1名

大沢 千代（山梨県トラック事業協同組合女性部）

優良専従職員

8名

高野 浩（甲府市管工事協同組合）
手塚 和仁（山梨県民信用組合）
中澤 伸字（山梨県民信用組合）
望月 郷（山梨県民信用組合）
原田 勇太（甲府市資源回収協同組合）
羽田 光宏（都留信用組合）
渡辺 利彦（都留信用組合）
井上 佳美（甲府ホテル旅館協同組合）

シニア世代

ibuki

息吹

最近、かつては若者たちのたまり場だったゲームセンターを訪れるシニア世代（はつきりとした定義がないが、通常50代から60代の方を指すことが多い）が急増している。

従来の老人向けの生活に満足できないシニア世代が暇をつぶす娯楽場として、流行のゲームセンターを新たな交流をはぐくむ場としている。

少子化による人口減少で国内市場が縮小する中、サービス業や流通業をはじめとして様々な業種・業界が、中高年のいわゆるシニア世代に熱い視線を送っている。

現在のシニア世代は、行動的で趣味や消費活動にも積極的で、60歳以上のマーケット規模は年々拡大している。民間のシンクタンクによると60歳以上の消費金額は年間100兆円を超え、個人消費全体の44%を占めているという試算もされており、今後さらに増えていくと見込まれている。

そのような状況の中、国内での成長を続けるためには、シニア世代の取り込みが不可欠となっている。旅行業界では、60歳以上をターゲットにした高額商品を販売し始め、スーパーではこれまでファミリー向けの品揃えから、シニア世代を意識した売り場に作り変えている。

中小企業も、シニア世代向けに新たな市場を開拓できるチャンスがある。

中小企業であれば、新展開のフットワークの軽さを生かして大企業ではできないシニア世代のニーズをきめ細かくとらえ、サービスを開発、提供していくことができるものと思われる。

是非、新たなビジネスチャンスを手握して下さい。

●山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県の4月の景況は、全業種のDI値が、売上高2(前年同月比+38)、収益状況-14(前年同月比 +36)、景況感-20(前年同月比+30)となった。業種別のDI値では製造業で、売上高10(前年同月比+35)、収益状況は-10(前年同月比+30)、景況感は-15(前年同月比+30)。非製造業で、売上高-3(前年同月+40)、収益状況-17(前年同月比+40)、景況感-23(前年同月比+30)となり、前回の3月報告と同じく、全ての項目でDI値のポイントの改善幅が大きくなっている。

比較対象の前年同月となる4月は、東日本大震災から1ヶ月が経過し、地域を越えた様々な業界への被害の波及状況が明確となり、DI値の急激な悪化が見られた前年3月と同様に、厳しい実態を反映した業況判断が影響している。

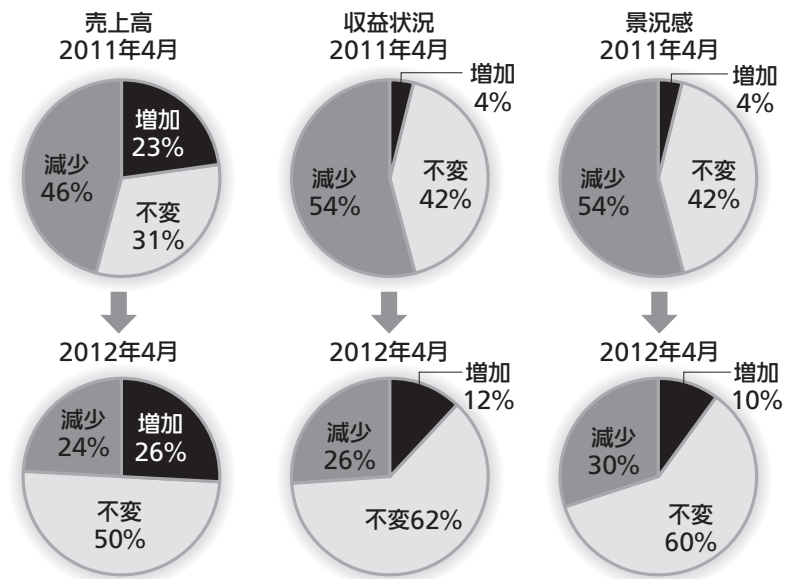
一方、全体の前月比は、売上高-12、収益状況-4、景況感-20とポイントを下げた。結果として、全ての項目でDI値も悪化となり、前回3月と全く対照的な結果となった。

業種別前月比では、製造業で、収益状況が不変であった以外は、売上高-5、景況感-15とポイントが悪化し、非製造業では、全ての項目でポイントの悪化となっている。

情報連絡員による県内各業界の4月景況は、建設・設備関連の一部に、引き続き改善傾向があるものの、全体的には、先行きへの不安を抱えた厳しい業況報告となっている。

報告では、製造業、非製造業ともに、電気料金値上げと電力不足が及ぼす経営への影響や、燃料の高騰による価格への転嫁、収益確保などを懸念する声が共通して多くあり、中小企業を取り巻く環境は、経営を圧迫する課題や景気への懸念材料などが山積し、より厳しい状況となっている。

データから見た業界の動き (平成24年4月分)



業界の動き

平成24年
4月分



トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

業界から一言

- 製造業
 - 食料品(水産物加工)／売上は昨年並みまで回復したが、競合の激化により利益率は低下傾向
 - 食料品(製麺)／昨年と比較し、売上は増加したが、消費者の購買意欲が減退しており、イベントがあっても売りが上がらない状況
 - 繊維・同製品(織物)／中国の技術力向上に伴って、国内産地の注文は年々減少傾向。今後の展開を考え、国内外の展示会等へ出展希望する企業が増えているが、助成金などの減額を受け、今後が懸念される。
 - 窯業・土石(生コン)／甲府地区の大型建築工事やリニアのトンネル工事等により、前年同期比で僅かに仕

事量と売上高が増加した。鉄鋼・金属(1)／ハイブリットの自動車関連は好調だが、電気料金値上げで利益確保が不透明

開催された甲府ジュエリーフェアは、対前年比で来場者数も売上も上回り、組合員の反応も好調の兆しが見えた。

- 鉄鋼・金属(2)／受注状況はかなり悪化している。先行きも不透明
- 一般機器(1)／現状では前年同月に比べ仕事量は多いが、先行きは仕事が少ないなりつつある。
- 一般機器(2)／とりあえず堅調だが、先行き不透明
- その他(貴金属)／電気料金値上げ、消費税の増税等、体力のない企業にとっては厳しい。現在の受注状況では不安
- 非製造業
 - 卸売(塗料)／建設業界は仕事量が少なく、製造関連は資材の高騰、電力問題、円高、海外シフトなどで数値は不明だが稼働率が低下しており、景況は悪化傾向。今年度は周辺業界の経営環境の悪化が多いため、先行きは悪化が予想される。
 - 卸売(ジュエリー)／4月に

- 小売(食肉)／牛肉・豚肉に關しては、消費不振による価格の下落傾向が続いている。一方、食肉加工製品は僅かだが伸長している。
- 小売(水産物)／組合員の買上げ金額は、ここ数年横ばい傾向だが、今年度は若干増加する見込み。鮮魚に特化した組合員は好調だが、総合食品の小売業を営む組合員は苦戦を強いられている。
- 小売(電機製品)／LEDや太陽光発電等が順調に推移し、緩やかに業界の底辺を支えている。夏に向け家庭用、業務用エアコンの需要が増え、省エネに対する消費者の意識が高まり、買い換えの動きも顕著に出てきた。
- 小売(石油)／4月に入り販売量の減少により元売価格が3週連続して値下がりしたため、県内給油所も5円程度の値下げとなった。
- 商店街(1)／例年と比べ寒い四月となり、総じて人出は鈍く、厳しい業況が続いている。
- 商店街(2)／春を迎え、お客様が戻りつつある。暴力団抗争も終わりつつあり、街のムードは上向き傾向
- 宿泊業／前年同月比は好転しているが、本格的に回復したとは言えない。夏の電力不足が懸念され、各施設では消費電力の少ないエアコン導入など創意工夫に努めている。
- 美容業／忙しい店と暇な店の格差が大きい。春になり施術単価の高いパーマ等のニーズが徐々に出てきている。
- 廃棄物処理(1)／燃料の高止まりが収益に大きく影響しているが、運賃等の価格に転嫁できない。最終処分費の値上がりも、経営を圧迫している。
- 廃棄物処理(2)／燃料の高騰により利益に繋がらない。
- 警備業／土木工事の年度末発注等で業務量が一時的であるが増加した。新年度予算による土木事業が動いていないため、雇用人員が超過傾向にあり業務も停滞している。
- 建設業(総合)／今年度も山梨県及び各市町村が発注する公共工事は、減少する見通し。
- 建設業(鉄構)／新年度を向え、鉄骨工事の状況は改善ムードだが価格が採算レベルに戻るには、時間がかかる感がある。例年4～6月は、仕事量が少ない時期で受注競争が懸念されている。
- 設備工事(管設備)／前年同月比では、売上は伸びている。今年度は、公共工事など行政の予算縮小により厳しい運営が予想され、共同購買事業も工事量の減少に連動し、売上の減少が予測される。
- 運輸(トラック)／関越自動車道における高速バス事故による規制強化が、今後、業界に与える影響が懸念される。
- その他(介護)／4月の法改正により介護サービスの1単位当たりの時間が短くなった。6月からの収支に影響が現れてくると思う。

業界の声

山梨協豊事業協同組合

事務局 高原 健氏

業界の現況は？

当業界では、一昨年の第1次工コカー補助金の終了、昨年の東日本大震災やタイの工場で起きた洪水被害等による部品供給のストップ等により、厳しい状況が続いていました。

そのような中、昨年12月より始まった「第2次工コカー補助金」の復活は、当業界にとって好影響を与えています。特に、低価格のハイブリッド車として発売した新機種に関しては、山梨県内の販売会社の全店において発売していることもあり、第2次工コカー補助金との相乗効果により、順調に売上を伸ばしています。また、この新型車に関しては、今まで高級車のみ取り扱いを行っていた会社にとっては、新規顧客を獲得するチャンスともなっています。

今後の展開は？

しかし、そのような中でも油断はしてられない状況です。第2次工コカー補助金については、予算額に限度があり、その予算額に達した時点で当補助金は終了となります。前回の第1次工コカー補助金の終了時の影響を考えると、第2次工コカー補助金の終了時も厳しい状況が予想されます。また、落ち着きを見せないガソリン価格の高騰により、自動車自体の利用を控える、または自動車を手放す顧客が増える可能性もあります。さらには、少子高齢化により自動車の保有者自体の減少も考えられ、今後はこれらの対策も検討していく必要があります。

その対策のひとつとして、今以上に「自動車の楽しさ」をお客様に伝えていく必要があると思います。今後は、自動車がただの移動手段というだけではなく、自動車を運転する楽しさ、自動車を出かけるからこそ生まれるコミュニケーション等を、より多くのお客様に伝えていくことが重要だと思っています。



新発売されたスポーツカー

第64回全国建築板金業者大会を初めて山梨県で開催

ACTIVE KUMIAI

山梨県板金工業組合

山梨県板金工業組合（宮川理事長）は5月17日、甲府市にあるアイメッセ山梨において、第64回全国建築板金業者山梨大会を開催した。この大会は全国の板金業者との親睦を深め情報交換を図るとともに、業界の維持発展に向けた取り組みなど、団結を誓い合う場として毎年開催されている。



挨拶を述べる宮川理事長

今回初めて山梨の地で開催されることとなり、組合では大会に向けて平成20年から運営、渉外、編集などの専門委員会を設置し準備を進めてきた。

大会には、全国各地から約3,500名の板金業者が集結し、宮川理事長はあいさつの中で「建築板金業界を取り巻く経営環境は依然厳しい状況下にあるが、卓越した技能・技術を活かすとともに、業者同士が連携し板金業界の総力を結集することで、必ずやこの難局を乗り越えられると確信している。」と力強く語った。また、長年にわたり業界の振興や発展に貢献した者に対して表彰が行われ、本県からは理事長歴6年以上の者に贈られる表彰に宮川理事長が受賞したほか、役員歴が通算10年以上の者に贈られる功労章に安藤和彦氏、中島正氏、田中仁氏の3名が受賞した。また、今年の2月に開催された第34回全国建築板金業者大会建築技術の部（NYAC）で1位となった青年部の武井士氏に国土交通大臣表彰が贈られた。大会の最後に、次回開催の北海道板金工業組合が参加者に対して歓迎の横断幕を掲げ閉会した。



全国から約3,500名が参加

会場の外では、建築板金の工具、機械の展示販売の出展ブースも設けられ、多くの購買者で賑わった。山梨県の組合は全国と比較すると下から5番目に組合員数が少ない県であるが、組合員、青年部、婦人部、従業員が執行部のリーダーシップのもと協力し、組合が一丸となることで無事大会を成功裡に終えることができた。

多くの組合の協力で全国大会を成功に

ACTIVE KUMIAI

去る5月17日にアイメッセ山梨で全国から3,500名余りの参加者を得て全国建築板金業者山梨大会が盛大に開催された。

大会に実施にあたっては、中央会を通じてたくさんの方々がそれぞれの事業分野で協力をし、大会の成功に寄与した。



大評判の「武田兵糧丸」

組合、宝飾製品を協同組合山梨県ジュエリー協会と山梨県宝玉石研磨協同組合、印伝では甲府印伝商工業協同組合、ワイン販売では山梨県ワイン酒造組合と、組合を通じて数多くの企業が出店に協力してくれた。

特に、山梨県菓子工業組合では組合の統一ブランドとして開発した「武田兵糧丸」を販売し、全国の参加者に山梨のお土産として好評を博した。

また、追加で取り寄せた品物も売り切れになってしまった出展者も続出し、非常に盛況となった。

それ以外にも、3,000食を超えるお弁当を山梨県学校給食協同組合を通じて組合員企業が製造を一手に引き受けていた。とともに、物販ゾーンの看板設置も山梨県広告美術業協同組合の組合員が引き受けてくれた。



ワインは試飲が好評

山梨県板金工業組合では、中央会の仲介により短期間で多くの組合からの協力が得られて全国大会が成功裡に終わったことで、あらためて、中小企業の事業活動の幅広さと迅速な行動力を実感した。

「ゆかりの人物資料室」を組合事務所へ設置

— 太宰治の等身大パネルなど展示 —

ACTIVE KUMIAI

湯村温泉旅館協同組合

湯村温泉旅館協同組合の組合員や湯村温泉郷周辺の関係団体などをつくる「湯村温泉郷魅力づくり協議会」（浅川貴会長・同組合理事長）は、湯村温泉郷の活性化を図るため、湯村温泉郷のゆかりのある人物や魅力などを発信する「湯村温泉郷ゆかりの人物資料室」を昨年12月に開設した。5ヶ月が経過し、観光客だけでなく県内からの観覧者も増えてきている。



当時の街並みを背景に等身大の太宰治



資料室内の展示

明治「や井伏鱒二が定宿とした「常磐ホテル」があり、観光客などへもつと温泉郷の歴史、魅力をPRするための拠点づくりとして資料室を設けたもので、同組合の事務所に併設された約25平方メートルのスペースに、昭和10年代の一時期間湯泉郷に滞在した小説家、太宰に関係する資料が展示されている。

また、数十年前の同温泉郷の「常磐ホテル」や「塩沢寺」と太宰の写真を使った3D額（立体額）なども展示され、昭和戦前の甲府市中心街の町並みを背景に立つ、太宰の等身大パネルと記念撮影もできるなど、当時の湯

村界限、甲府界限を舞台にした内容で企画されている。その他、資料室では、同温泉郷の温泉情報、散策するためのフットパスガイドブックなどが用意され、一休みしながら無料で自由にお茶を飲むことができる。

今後は、小説家の井伏鱒二、松本清張といった湯村にゆかりのある人物の資料も展示していく予定。

観覧は無料。日曜を除く午前10時～午後5時まで。

●お問い合わせは：湯村温泉協同組合

電話055(252)2261

TOPICS

湯村温泉旅館協同組合

経営研修会を開催

「経営者の役割の再認識」

ACTIVE KUMIAI



EMTビジネスコンサルティング雨宮氏

山梨県型枠工事協同組合(中込正明理事長)は、5月20日に経営者を対象とした研修会を開催し、組合員10名が参加した。型枠業界では、経営者が営業や現場管理に追われ、経営者としての業務に力をさけない状況が見られることから、研修会は経営コンサルタントのEMTビジネスコンサルティングの雨宮哲也氏を招き、「経営者の役割」これだけ知っておきたい社長の仕事」のテーマで行われた。

講師の雨宮氏からは「経営者としての仕事は経営管理が第一であり、経営者の仕事は代役がきかないことを念頭に、現場だけではなく本来の経営に關与する時間を必ずもたねばならない。また、利益の作り方やキャッシュフローの考え方、3ヵ月先までの資金繰りなど経営に関する数字のとらえ方を習得し、顧問税理士を上手に活用しながら、金融機関などの取引先に対して適切な対策を準備する。」など経営者の役割について説明された。

研修会後に行われた通常総会で中込理事長は、「17年前の設立当初からすると組合員は大きく減少しているが、各企業における世代交代は着々と進んでおり、この不況を勝ち抜くためには、先代の知恵を継承しつつも社長自ら企業経営の基本にもう一度立ち返って、会社経営、組合活動に邁進していかなければならない。」と語った。組合ではこれまで主に親睦交流を中心に事業を行ってきたが、今後は個々の経営課題の共有に努め、定例的に研修会を開催し、組合員企業の経営力向上と組合活動の活性化をめざしていく。



熱心に聴講する組合員

山梨県化粧品小売協同組合

小売業の原点を再確認 甲信越ブロック大会を開催

ACTIVE KUMIAI



大会風景

全国化粧品小売協同組合連合会は、平成24年5月22日甲府市「甲府富士屋ホテル」で山梨県化粧品小売協同組合と共催で第37回甲信越ブロックやまなし大会を開催した。当日は、県内外から参加者70名あまりが参加した。

近年は、ドラッグストアやインターネットなどの販売拡大による低価格競争が激化し小売業の経営は厳しい状況が続いている。そこで、大会に先立ち、フェイストゥーフェイスの重要性を再確認してもらい接客技術の向上を目的とした研修会が開催された。

大会では、当番県の西山武夫甲信越ブロック長、山梨県化粧品小売協同組合理事長が「個々の力は小さいが情報共有し連携して頑張っていこう。」と歓迎の挨拶を行った。

平成23年度の事業報告と平成24年度の事業計画、全国化粧品小売協同組合連合会中神美郎理事長より「時代が変わる！我々も変わる！」をテーマに提案並びに報告が行われた。

また来賓として、内藤悦次中央会長が「モノを売ることでだけが小売業の役割ではありません。商いを通じて街づくりや地域文化の担い手としての役割、地域コミュニティの場として地域を代表する「まちの顔」になって頂くことを期待します。」と祝辞を述べた。

大会終了後、甲州ワインに舌鼓を打ちながら盛大に懇親会が催された。

また、翌日は新潟県化粧品小売業協同組合と組合事業や運営に関する情報や意見交換が活発に行われた。



熱心に聞き入る参加者

山梨県生コンクリート工業組合

生コンの品質管理体制

「マル適マーク」合格証の推進

ACTIVE KUMIAI



コンクリート技術センター共同試験場を併設した組合事務所

山梨県生コンクリート工業組合(瀧田雅彦理事長)は、生コンの技術の普及推進、新技術への対応、技術レベルの向上等の幅広い活動を繰り広げている。その活動の一環として、山梨県コンクリート技術センター共同試験場を設置し、国土交通省、経済産業省、山梨県の認定を頂き、社会的評価の高い試験場として活動を行っている。

当業界の品質管理監査活動としては、技術委員会での研修会、共取研修会、コンクリート技術研修会などを行い、生コンを提供するための品質の確保の目的や、人材育成・技術者の資質向上を目指している。

その他にも、生コンの品質確保のため、全国生コンクリート品質管理監査会議の定める判定基準に適合していると判断された工場に対して交付される「マル適マーク」の合格証の推進を行っている。この合格証は、購入者からの信頼性を高めることを目的に、生コンの品質管理の透明性及び公正性を確保し品質管理体制の確立を図るため、全国共通の「全国統一品質管理監査基準」の中の「レディーミクスドコンクリート全国統一品質管理監査チェックリスト」に基づき、各都道府県で生コン工場の立ち入り検査を実施しての合格証を交付している。マル適マークの承認は全国統一基準の品質管理合格工場の証明と言われている。



「マル適マーク」

今後の活動については、「リニア中央新幹線本線」や「中部横断道」建設工事、環境に配慮した新需要開拓の推進などにも取り組み、地域社会に貢献していくとともに、業界の発展に取り組んでいきたいと考えている。

new association

新設組合紹介

富士吉田市環境事業 協同組合

理事長／松浦真吾
設立／平成23年10月24日
住所／山梨県富士吉田市上吉田4824番地の8
TEL／0555-24-0025
組合員／9名 出資金／270万円



調印式（左：堀内市長、右：松浦理事長）

組合の沿革・設立の経緯
環境保全の意識の高まりとともに、廃棄物の適正処理や資源物のリサイクル推進が急務となっている。また長引く景気低迷の影響により、地方財政も逼迫しており、コスト削減と効率化のため受注の一本化が行政より求められていた。
このような中、富士吉田市から家庭系一般廃棄物等の処理の委託を受けている事業者が企業経営の枠を越えて行政や地域住民と連携し、経費の削減と経営の合理化を図るとともに循環型社会の実現を推進するべく組合を設立した。

組合の活動・方針
頭初は7社で組合を設立したが、市内の資格事業者に加え、2社が加入し、本年5月に富士吉田市内の資格事業者全社が加入することになり、受注の一本化を図る体制が整った。

昨年12月20日市役所において、「災害時における生活系廃棄物の収集・運搬に関する協定」の調印式が行われ、堀内茂富士吉田市長と松浦理事長が出席し、協定書に署名した。協定では、災害時に富士吉田市の要請を受け、市内の生活系廃棄物の迅速な処理により、公衆衛生の確保や交通網の復旧を行うことになっている。

また、組合は市と「一般廃棄物収集及び運搬業務」の委託契約などを締結するべく準備を進めており、近く締結の見込みである。この契約により、組合は組合員に対して当該業務を割り振り、当該組合員は富士吉田市の計画に基づき当該業務を実施することになる。



●山梨大学 研究室訪問

第37回

ただいま、研究中！

このコーナーは、「地元大学と中小企業の橋渡しのきっかけ」と、山梨大学の先生と研究を紹介するために企画されたものです。

紹介にあたっては、中央会の職員が大学の研究室におじゃまし、できるだけ分かり易い言葉で記事を書くようにしています。そのため、研究内容が正確に伝わらない場合がありますが、ご容赦下さい。



●山梨大学生命環境学部
地域食物科学科

教授 谷本 守正 博士（農学）

食品を極める ～山梨大学新学部スタート～

■4月からの新学部である生命環境学部について教えてください。

生命環境学部は、生命工学科、地域食物科学科、環境科学科の3つの理系学科と文系の地域社会システム学科で構成されており、「持続的な食料の生産と供給による地域社会の繁栄を実現するために必要となる、生命科学、食物生産・加工、環境・エネルギー、地域経済・企業経営・行政に関し広い視野を持つ人材を、自然と社会の共生科学に基づき養成する」ことを基本理念としてスタートしました。

地域食物科学科では、食物科学や農学に関する専門知識・技術を基礎として、果樹や野菜等の農

産物の栽培、食品製造の科学的理解、有用成分の解析と利用などの課題に、資源・環境などの多角的な視点からアプローチしています。私の所属する食品製造学部門では、食品製造・加工および食品保蔵学を基盤として、様々な研究を展開していきます。

■具体的な研究内容は？

私の研究分野は、食品製造学、食品加工学、食品物性であり、「食品の加工処理と食品の物性解明によるおいしさ（食感、風味）創造技術の開発」をテーマに研究しています。その中でも「食感」と「鮮度」に着目しています。

食品の美味しさを決める要素に風味・食感があります。食べやすさを左右する食感については、食品ごとの物性とその加工適正の解析が必要となります。また、美味しさを保つための鮮度についても、保蔵方法や微生物制御などが重要です。

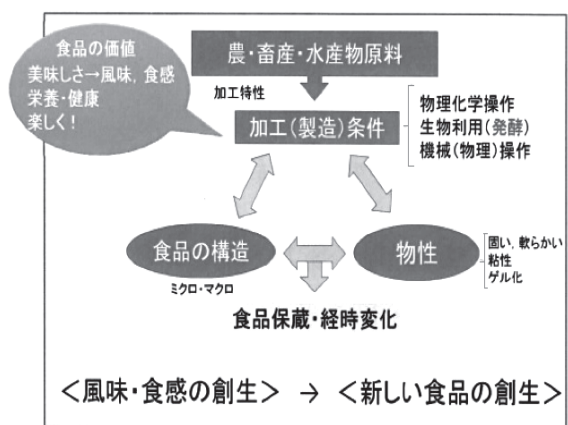
食品および原材料ごとの物性と構造を解明し、その製造加工段階での物理・科学的操作や生物利用（発酵）など加工条件の適正化をはかり、保蔵技術を加えることにより、風味・食感などの

新たな食品価値の創生につながる研究をしたいと考えています。また、それにより新たな食品も作り出したいと思います。

■今後の研究の可能性について

私は、これまで乳製品関係を専門分野として、その成分分析や分離・抽出技術などにも携わってきました。新学部では、農・食・商の分野において食物の生産加工をはじめ生命科学や環境・エネルギー、経済・経営など多面的な視点からの研究に取り組んでいきます。私は民間での経験を活かし、製造工程から流通、消費までの流れを考えた食品製造の現場を重視した相談にも対応したいと考えています。

地球では、かつてないスピードで環境破壊、人口増加が進んでおり、食を取り巻く環境は大きく変化しています。食品の性質を理解し、新たな知見・価値を得る事によって食品製造技術を再構築し、人類が直面する食料問題に知識・技術で貢献していく事を研究目標としています。TPPや後継者問題など農業、食品産業を取り巻く課題に対しても、食品産業の基盤強化、売れる農業の実現を目指していきたいと考えます。



●谷本先生の研究などについてのご相談がありましたら、山梨大学 産学官連携・研究推進機構 (TEL:055-220-8759, FAX:055-220-8757) までお気軽にご連絡下さい。

平成24年度 「中小企業会計啓発・普及セミナー」の開催機関募集

独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部

中小機構では、平成24年度「中小企業会計啓発・普及セミナー」の開催機関を広く募集します。

1.趣旨

「中小企業の会計」に則った決算書を作成する事の意義、財務情報の経営活動への活用方法等について理解を深めることにより、自社の経営状況を把握し、金融機関、取引先等からの資金調達力の強化、受注拡大に向けた取組みの一助とすることを目的としています。

2.セミナーの内容

(1)テーマ

「会計を経営に活かす」

◆決算書は税務申告のためだけではもったいない!

→『中小企業の会計に関する基本要領』を活用した「信用力のある決算書」を武器に、「経営分析力」「資金調達力」「受注開拓力」の強化を目指します!

【学習内容】 ※オリジナルのテキストを使用いたします。

- ・中小会計要領を活用すると、どのように企業にプラスになるか
- ・財務会計の基本構造を知り資金を増やす
- ・事業計画の策定・税法改正のポイント

(2)主な受講対象者

中小企業経営者、管理者、後継者等

(3)開催機関

〔経済団体等〕中小企業振興に寄与する法人(商工会議所、商工会、中央会、商店街振興組合、支援センター、公益法人、工業会、協同組合等)
〔金融機関等〕銀行、信用金庫、信用組合、政府系金融機関等

(4)実施体制

主催:セミナー開催機関、中小機構

(5)開催者の主な業務

開催計画の作成、会場設営、受講者の募集、受講者名簿の作成、受講者アンケート集計等の業務を分担していただきます。

(6)開催経費

- ①会場借料、募集経費に対して一開催当たり上限額(10万円)を設けて負担します。
- ②講師の謝金・交通費は、上記①とは別に、当機構から講師に支払います。
- ③教材・テキストは当機構の負担にて送付します。
※金融機関等が開催する場合は、②及び③のみとなります。

(7)開催形式

- ①単独開催、抱き合わせ開催等、開催形式は特に問いませんが、特別の方法により開催する場合には、事前に中小機構までご相談ください。
- ②開講時間は、120分から180分までとしますが、開催時間に制約等がある場合には、事前に中小機構までご相談ください。
- ③開催日時は、土曜・日曜や夜間の時間帯を含めて設定することができます。

(8)開催数

セミナー開催機関は、応募者数並びに対象地域を勘案し希望により複数回の開催をすることができます。

(9)講師

講師の選定は、当機構において行います。また、セミナーを開催する機関からの推薦にも対応いたします。

(10)受講料

無料とします。受講者から受講料を徴収することはできません。

(11)開催期間

平成24年4月～平成25年3月10日迄とします。

●ご不明な点等ございましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

中小企業基盤整備機構経営基盤支援部 人材支援業務課会計セミナー担当
Tel.03-5470-1645Fax.03-5470-1561
E-mail:kaikeiseminar@smrj.go.jp

情報 **BOX**

協会けんぽよりお知らせ

署名活動へのご協力をお願いいたします

協会けんぽの保険料率は、厳しい医療保険の財政状況に加え、高齢者医療への拠出金の増加などの理由から3年連続の引上げとなり、加入者、事業主の皆さまには、平成24年度では、全国平均で10%(山梨支部9.94%)への変更をお願いせざるを得ませんでした。

このような問題について、協会けんぽでは、これまで「国庫補助の増額」や「高齢者医療制度の見直し」などを国に対して働きかけてきましたが、実現には至っておりません。

そこで、今年度は、加入者、事業主の皆さまと一体となった取組みを進めるべく、増え続ける保険料負担の軽減を求めるための署名活動を実施しております。

いただいた署名を基に、切実な思いを国に伝えてまいります。多くの方からのご協力をいただけますようお願いいたします。

署名の方法について

- 署名用紙…5月末頃に協会けんぽ加入の事業主様あてに送付しております。協会けんぽホームページからダウンロードもできます。
- 署名の対象…協会けんぽにご加入の方(本人、ご家族)などで、署名にご賛同いただける方が対象となります。
- 送付先…全国健康保険協会山梨支部まで郵送願います。
- 締め切り…平成24年7月10日(火)までをお願いいたします。

お問い合わせ先 全国健康保険協会(協会けんぽ)山梨支部 ☎055-220-7750

甲府市における 「一日公正取引委員会」の御案内

公正取引委員会は、地方事務所等所在地以外の都市における独占禁止法等の普及啓発活動や相談対応の一層の充実を図るため、この度、甲府市において「一日公正取引委員会」を開催し、「独占禁止法講演会」及び「下請法講習会」を下記のとおり開催しますので、是非とも御出席くださいますようお願い申し上げます。

また、当日は、皆さまから独占禁止法及び下請法に関する相談・質問を受けするコーナー等を設けておりますので、どうぞ御利用ください。

記

開催日 平成24年6月19日(火)

場 所 山梨県立男女共同参画センター ぴゅあ総合(甲府市朝気1-2-2)

講演会等

(1)独占禁止法講演会 13:00～14:30 2階 大研修室(定員100名)
公正取引委員会事務総長山本和史が「公正な経済社会の実現に向けた公正取引委員会の取組」と題して、公正取引委員会の最近の活動状況や独占禁止法の講演を行います。

(2)下請法講習会 10:00～12:00 2階 大研修室(定員100名)

相談・展示コーナー 10:00～17:00 2階 中研修室

講演会等の申込先はこちら

公正取引委員会事務総局 官房総務課 担当:藤山・津田・齋藤
☎03-3581-5471 FAX.03-3581-1963

やまなし6次産業化等チャレンジ推進事業を受託

商品の販売促進PRなどをイベント事業でサポート



圃場を訪問し、現地確認を行う専門家
(H23年度6次産業総合推進事業より)

山梨県中小企業団体中央会では、山梨県農政部が公募を行った「やまなし6次産業化等チャレンジ推進事業」の企画提案に応募し、正式に受託することとなった。6月中旬頃から本格的な支援業務の開始となる予定。

この事業は、本県農業の6次産業化や地産地消の取り組みを推進することで、本県農業の活性化と雇用機会の創出に資することを目的としており、山梨県内において農水産物を生産し、加工・販売を行う農業者・農業生産法人、生産者と連携を行う法人・団体に加え、6次産業化や地産地消などの推進・支援等に携わっている法人・団体が、本事業の公募の対象者となった。県内全体では、複数の事業者が採択されている。

当会では、昨年度「農林水産省（関東農政局）が公募した6次産業総合推進委託事業の採択を受け、山梨県内における農業者、農業法人等の6次産業化ニーズに対する総合相談窓口として「やまなし6次産業化サポートセンター」を開設した。6次産業化に取り組む農業者や農業生産法人からの多種多様な相談や専門的な支援ニーズに対応するため、地域資源活用や農商工連携事業などの支援実績を持つ専属プランナーを配置した。それ以外にも各分野のノウハウを持つ専門家を派遣し、いわゆる6次産業化法に基づいた「6次産業総合化計画」の認定を目指す農業者の申請計画作成支援から、商品のプロモーション、マーケティングのアドバイス、農産物を活用した商品・メニュー開発やレシピ提案など、ハンズオン支援※を実施してきた。



野菜栽培設備に関する現地支援
(6次産業化に関する相談案件対応より)

こうした実績を踏まえ、本事業では、農業者の個別相談ニーズに対応する専門家派遣を中心に、商品開発から販売に至るまでのマーケティング全般を支援するとともに、6次産業化による開発商品の販売促進や販路開拓を目的に、当会が毎年開催する「中小企業組合まつり」への出展をサポートし、イベントを効果的に活用したPR事業などを計画している。

また、当会では、本年度も引き続き、関東農政局の「6次産業総合推進委託事業」（現在審査期間中）の実施に向けて計画申請を行っているが、対応が難しい支援ニーズについては、この「やまなし6次産業化等チャレンジ推進事業」と相互に補完し、相談者に対する迅速で、効果的な支援事業の実現を目指していく。

※「ハンズオン支援」とは…
支援機関や専門家などが、相談者の課題解決のため現場に出て活動しながら行う、直接的なアドバイスや支援活動のことを意味する。

編集後記

梅雨の季節の6月となり、湿度が高く、じめじめとした日が続きますが、皆様も体調の管理に気をつけましょう。

また、毎年のことですが、総会終了後の届出書類の整備につきましては、お忘れのないようお願いいたします。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216

E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

中小企業の森整備事業の開催

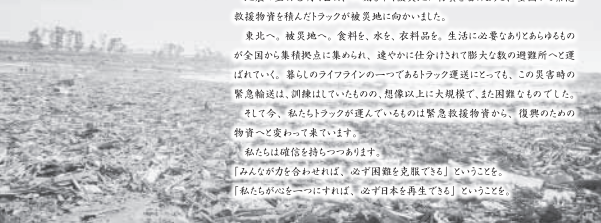
日時 平成24年6月23日（土）

場所 金川の森
(笛吹市一宮町国分1162-1)

皆様のご参加をお待ちしております!!



東北へ。 被災地へ。



トラックが運ぶ
復興と未来とぼくたちの夢

平成23年度環境標語最優秀作品

がんばろう
日本!!



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中銀 地域活力強化ファンド



■山梨中銀 地域活力強化ファンドの概要	
お取扱期間	平成24年4月2日(月)～平成25年3月29日(金)
ご利用いただける方	中堅・中小企業および個人事業主のみなさま
お使用みち	事業に必要な運転資金・設備資金(借換資金を含みます) ※当行既住・融資資金のお借換えにはご利用いただけません。
ご融資金額	5億円以内
ご融資期間	《運転資金》1年超5年以内 《設備資金》1年超15年以内(法定耐用年数以内となります) ※1年以内の据置期間を含みます。 ※お借換え資金については、原則として残存期間の範囲内とします。
ご融資利率	当行所定の利率(固定金利または変動金利)を適用いたします。 ※ご融資期間10年超の場合は、変動金利となります。
ご返済方法	元金均等毎月返済
担保・保証人	個別の審査となります。
保証料	信用保証協会をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。
お取扱総額	200億円

※ 審査の結果、ご希望にそえない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
※ 取扱期間中でも、総額が200億円に達した場合は、お取り扱いを中止させていただきます。
○くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。 <http://www.yamanashibank.co.jp/>
0120-201862(県会コード:9)
受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00
(ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。)

平成24年4月2日現在

「けんみん信組 ビジネスローン」

事業者向けローン

ご融資期間
最長5年!!

ご融資金額
50万円～
最高500万円!!

スピード
審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人(協同組合は不可)および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。
(但し、業種によっては受付出来ない場合があります)
- アイフル株式会社の保証が得られる方
※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー

YKS 山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151
<http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp>